

## 市民サービスのための人材育成

**問** 地域維持・発展に人材不足が

**人材育成**

**答** メリットは一枚でマイナンバーが証明でき、本人確認書類としても利用可能な他、コンビニエンスストアで住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書が窓口より安く（200円）取得できる。また、所得税の電子申告ができる。普及に努めたい。



様々なメリットがあるマイナンバーカード

**マイナンバー制度**

**問** マイナンバーカード交付のメリット、PRは。

**答** マイナンバーは一枚でマイナンバーが証明でき、本人確認書類としても利用可能な他、コンビニエンスストアで住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明書が窓口より安く（200円）取得できる。また、所得税の電子申告ができる。普及に努めたい。



緑風会  
竹内靖人

**答** 人材なくして津山の未来はない。子どもは将来を担う大切な人材であり、幼少期から一貫性のある人材育成のための環境整備を進めることにより、将来、地域に必要な人材が不足しないよう努めてまいりたい。

## 共生社会実現のために



未来  
小椋 多

**問** 障害者や難病の特性に応じた総合的な支援を行っていくために、行政や市民、企業の役割、障害や難病を持つ人たちの役割など、津山市としての理念を定める「障害のある人もない人も共に生きるまちづくり条例」の制定が必要ではないか。

**答** 理念条例の制定には、市内の当事者団体や関係者との調整に多くの時間が必要である。そのため現在は「手話言語条例」の制定に向け、本

**障害者共生条例**

◆その他の質問項目  
◆子育て支援について  
◆専門的人材の確保について



年度「全国手話言語市区町会」に入会した。障害のある人がその人らしく、地域で安心安全に暮らしていくためには、市民が互いに尊重し、助け合い、差別のない社会を実現していくことが重要となる。そのような地域社会実現のためにも、幅広い議論が必要である。

## 所信表明の子育て支援、機構改革を問う

**問** 所信表明での子育て支援の考えは。

**所信表明**

**答** ①本年9月から3〜5歳児の第2子のうち、推定年収360万円以下の子を支援対象として、保育料を無償化する。②放課後児童クラブで10クラブは施設基準への対応を検討中、人材確保は支援員キャリアアップ処遇改善事業を実施する。全学区対応クラブで状況改善を図る。③教職員多忙化解消に教師業務アシスト員、部活動指導員配置



市民と歩む会  
黒見節子

**機構改革**  
**問** 機構改革で組織の組替は。

**答** 低炭素都市推進「室」を「係」とし、事業はこれまで通り実施する。「ビジネス農林業推進室」は農林部の主管課として、中心的な役割を担う。



子育てのしやすい津山へ

## 人工内耳体外機買い替え及び電池の助成は

**問** 新たな児童クラブを設置するところが場所は。児童

**放課後児童クラブ**

**答** 本市には聴覚に障がいのある方が338名おられ、このうちの人工内耳装用者数は不明である。高度難聴の人にとって人工内耳は必需品である。助成制度について担当部署で検討する。



人工内耳の買い替えに助成を

**人工内耳**

**問** 難聴者（児）の聴覚を取り戻すための人工内耳体外装置の買い替えと電池の助成適用を希望するが。

**答** 本市には聴覚に障がいのある方が338名おられ、このうちの人工内耳装用者数は不明である。高度難聴の人にとって人工内耳は必需品である。助成制度について担当部署で検討する。



公明党津山市議団  
広谷桂子

**答** 全学区を対象とした児童クラブの来年度新設を計画しており、運営事業者の選定準備を行っている。（場所は未定）作業療法士による児童クラブへの支援は、他都市の取り組みも参考に検討したい。

## 公立大学設置調査結果と今後の取り組みは



緑風会  
金田稔久

**問** 関西圏との連携が行政としても必要では。

**答** 連携強化するため、県大阪事務所への職員派遣も検討したい。

**問** 公立大学設置可能性調査結果と設置検討スケジュールは。

**答** 人材流出に歯止めができ、地域産業に好影響を与えるが、設置に多額の費用がかかる。本年度は美作大学・津山高専と意見交換を行い、検討していく。



防災対策に役立つ情報をメールで受信

◆その他の質問項目  
◆観光施設の活用について

## 交通弱者をなくそう！

**問** 津山市産材の利用促進を図ってはどうか。

**津山市産材**

**答** 住宅新築補助金を県補助と合わせ、最高100万円に引き上げるとともに「津山市産材」を利用した場



清流の会  
田口浩二

**交通弱者対策**

**問** 交通弱者への対策はどうするか。

**答** 交通不便地域における交通弱者のニーズに対応する「小型乗り合い交通」の導入を目指し、導入に向けてのルール作りを進める。



交通弱者への対策は？

**問** 公園の管理運営はどうなっているのか。

**答** 「鶴山公園」は、国指定史跡としての価値の維持・向上を両立していく。「衆楽園」は、今年度末を目途に樹木の管理計画の策定に取り組む。「グリーンヒルズ津山」については、さらに検討を進めている。

合の制度設計についても研究していく。